



# DESIGNPHIL NEWS LETTER

2019 VOL.32

Craftsmanship

## NEWS LETTER

2019 VOL.32

Craftsmanship

DESIGNPHIL NEWS LETTER

デザインフィル ニュースレター 第32号

発行日 | 2019年8月29日

企画・編集 | マーケティング部 広報グループ

TEL 03-5789-8058 FAX 03-5789-8470

株式会社デザインフィル

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-19 恵比寿ビジネスタワー 9F

www.designphil.co.jp



## MESSAGE FROM THE PRESIDENT

# イノベーションを起こす



代表取締役社長

会田一郎

A stylized, handwritten signature in black ink, appearing to read 'Ichiro Aida'.

デザインフィルはこの7月に節目の70期を迎え、来年2020年12月には会社創設70周年を迎えます。この大きな節目に私たちの事業の本質を振り返ってみたいと思います。

私たちの事業の目的は「デザインによる社会と文化への貢献」、生活にライフスタイルのインスピレーションを加え、人々のコミュニケーションを豊かにすることを事業の目的としています。

今日ビジネスにおけるデザインの重要性は未だかつてなく高まり、さまざまな事象として見受けられます。ロンドンのRCA(Royal College of Art)は5年連続で美術系大学世界1位の国立美術大学院ですが、近年力を入れてきたのはエグゼクティブ向けのアート教育。デザインによるイノベーションを目指すものであり、多くのビジネススクールを凌駕する願書を集めています。グローバルビジネスにおいては審美眼を持ち会社をディレクションできることが求められているのです。アートとビジネス思考を合わせることでより大きな付加価値を生み出そうとする試みは、マッキンゼーがシリコンバレーの著名なデザイン会社Lunarを買収したことにも現れています。論理的・工学的アプローチに、感性の領域を加えることが今日のビジネスでは求められており、それを無視して商品や事業が成功する確率は低くなっているのです。エンジニアリングされ、作り込まれた製品が説得よりも共感を引き出せるデザインをまとった時、その潜在能力は発揮されます。

1950年の会社創設以降、今日まで、私たちは「それまでになかった」新機軸の製品を多数プロデュースし、イノベーションを起こしてきました。主な製品を振り返ってみます。

古くは、企業手帳がない時代に手がけた『ビジネスダイアリー』から始まり、使い捨てが当たり前だったメモをリングタイプのポケットサイズにして「持ち歩くメモ」に進化させた『ダイヤモンドメモ』。画期的な両面印刷によりガラスの内外両面から同じ柄が見える『デコレーションシール』。デザイン性の高い厚紙製の箱型ケースとして大ブレイク、バッグの概念を変えた『グロービーケース』。便箋と封筒が別々に売られているのが一般的だったものを、はじめからセットにして販売を行った『バックレター』(レターセット)や、金の縁に白無地が常識の色紙にデザインや色、ダイカットを施した『カラー色紙』。発売当初から旅をテーマにモノとコトを発信し、グローバルブランドに育てた『トラベラーズノート』。近年では、学童用の折り紙に、大人が楽しめ、テーブルウェアにもなり得るデザインを施した『オリガミオリガミ』や、事務用品だったゼムクリップに意匠を加え、デザイン・コミュニケーション文具に昇華させた『D-CLIPS』。

これらは、「新しい価値をもたらす、世の中のないものを創り出そう」という創設時から脈々と受け継がれるものづくりの精神によるものと私たちは自負しています。

70期の節目に原点に戻り、ますます社会の重要な要素となる“デザイン”を生業としていることを、誰よりも私たち自身が自覚して、世界の潮流を捉え、先駆けてイノベーションを起こしていく、そういう会社でありたいと強く思っています。



## TRAVELER'S COMPANY

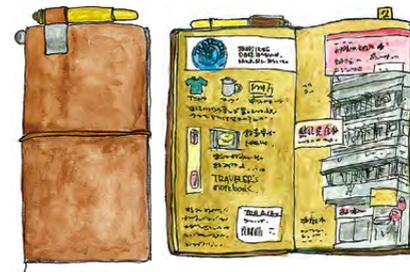
— JAPAN —

www.travelers-company.com

2006年3月にリリースした『トラベラーズノート』を中心に、『ブラスプロダクト』、『スパイラルリングノート』を展開しています。2015年には、ブランド名を「ミドリ」から「トラベラーズカンパニー」に変更。旅するように毎日を過ごすための道具をテーマに、ノートを起点に広がる新しい世界を提案しています。今号では改めて、それぞれのプロダクトについて、作り手の想いやこだわりをご紹介します。前号に続き、ものづくりのスピリットをお届けします。

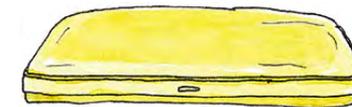
## 01 TRAVELER'S notebook

「旅するように毎日を過ごす」をテーマにした、革素材のカバーと書きやすさに徹したシンプルなノート。使い込むほどに味と風合いが高まり、愛着が湧きます。手に取って旅に出たくなる、そんなノートを目指しています。



## 02 BRASS PRODUCTS

使うほどに経年変化によって色合いが深まり、どこか懐かしく、愛着を持って使い続けたい真鍮の行まい。永く大切に使えるように、素材の特性を生かしたシンプルな形と使い心地にこだわりました。



## 03 SPIRAL RING NOTEBOOK

書き心地を追求した白い紙、ざっくりした風合いのクラフト紙、水彩用の紙に、ポケットや封筒、ファイルまで。さまざまな種類の紙を、樹脂を含んだ丈夫な表紙で挟んで、手作業により一冊ずつリングで綴じました。



# 01 TRAVELER'S notebook

『トラベラーズノート』を語る上で欠かせない、大切なコンセプトがあります。「ハーモニー」「トラベル」「カスタマイズ」。3つの要素が絶妙なバランスで融合し、『トラベラーズノート』ならではの世界観を醸し出します。



## [ HARMONY ]



### 風合いの秘密

荒削りな風合いが魅力の革カバーは、タイ北西部の都市チェンマイで作られています。のんびり、ゆるやかな空気が流れる工場で、和やかに手作業を行うスタッフ。『トラベラーズノート』のおおらかで温かな味わいはここで産まれています。

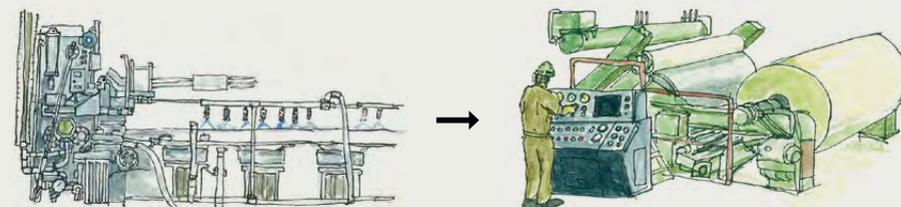


### 品質の良い日本の紙

リフィルノートは、書き味を追求したオリジナル筆記用紙を使い、デザインフィル流山工場ですばやく丁寧に作られています。タイの素朴な質感と日本の繊細さのハーモニーで生まれた存在感によって、手に持ち、書き留めることが喜びとなるようなノートに。

## オリジナル筆記用紙ができるまで

リフィルには、デザインフィルオリジナル用紙「MD用紙」が使われています。万年筆やボールペン、鉛筆など、ノートに使われるさまざまな筆記具で書きやすく、心地よく書ける紙です。できあがった紙は、デザインフィルの流山工場ですばやく製本され、皆さんの元に旅立っていきます。



パルプを水で溶かし、攪拌した液体をシャワーのように漉きながらシート状にしてレールに流していきます。

レールに流しながら水分を抜き乾燥させていき、カレンダーで表面を平らにしながら巻き取っていきます。

## [ TRAVEL ]



### 旅するように毎日を過ごす

マップやチケットが挟みやすく、手に携えて持ち歩くのにちょうど良いサイズです。このノートを手に、旅に出てみてください。さらに、このノートを携えることで、旅するように毎日を過ごしてください。

## [ CUSTOMIZE ]



### より愛着が湧く一冊に

無駄を削ぎ落としたシンプルなデザイン。それは使う人がカスタマイズしやすい形でもあります。旅で見つけたチャームを付けたり、お気に入りのステッカーを貼ったりして、自分らしくカスタマイズしてください。

## 02 BRASS PRODUCTS

『トラベラーズノート』と一緒に使いたい仲間として、2010年に登場した『ブラスプロダクト』。革と同じように使うほどに味が出てより愛着を持つことができる素材として真鍮を選びました。



### 使われる姿を想像しながら

無垢の真鍮は、使うほどに経年変化によって素材の色合いが深まり、独特の味のある雰囲気を醸し出します。手にしたときの質感や重さ、置かれたときの佇まいや永く使い続けてきた変化を想像しながら、素材や形、機構を詰めました。

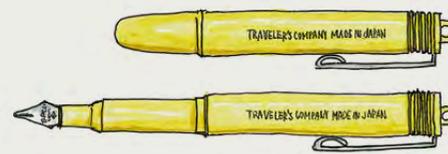


### 東京下町工場の職人技

古くから営まれている小さな工場で、技術者や職人たちと設計と試作を繰り返しながら完成形に近づけていきます。職人の長年の経験に基づく勘で、プレス機の微妙なカーブを描く位置を調整。そうして、美しいカーブ、目盛の正確さが生まれます。

## BRASS FOUNTAIN PEN

持ち歩くときにはコンパクトに、書くときには使いやすいサイズになる真鍮の万年筆です。使うほどに味わい深く変化する真鍮の質感とともに、日本の職人によって生み出された上質な道具としての佇まいも魅力です。トップには、ひもなどを取り付けられるリングが付いています。キーホルダーのようにバッグに取り付けたり、ビーズを付けてカスタマイズしたりすることができます。



使わない時には、ペン先を本体の内側にセットするため、コンパクトに持ち歩くことができます。『トラベラーズノート』のペンホルダーに留めたりそのままポケットに入れたり、いつも持ち歩き人生の旅の相棒として使ってください。



ブラスペンの特徴ヘッドリングパーツを外せば、クリップを取り外して使用することもできます。クリップとペン先以外は全て真鍮製。同じ真鍮でもパーツによって加工方法が違うため色の変化も微妙に異なります。



TRAVELER'S COMPANYの刻印が入ったペン先。ペン先のみドイツの老舗メーカーのものを使用しています。



ヘッドリングにはひもやリングを付けたり、ビーズを付けたりしてカスタマイズを楽しめます。



インクは、汎用性の高いヨーロッパタイプに対応。ブラックとブルーブラックをご用意しています。

## 03 SPIRAL RING NOTEBOOK

旅先やいつものカフェで、思いの丈を書き綴ったり、頭に浮かぶイメージを描いてみたり、チケットやレシート、写真などを貼ったり、ポケットに入れたり、気軽に自由に見えるノートです。



### ノート作りへの想い

絵が描きたくなるような気持ちのよい紙を使ったノート、写真をかっこよく収納できるフォトファイル、何も考えずざくざく書けるシンプルで心地の良いノート。ノートは何よりも毎日を豊かで楽しくするものでありたいと思い、ノート作りに向き合っています。



### LINE UP それぞれのスパイラルリングノート

#### DWクラフト



鉛筆やボールペンで書き込んだりチケットや切り抜いたものを貼ったりとスクラップにもおすすめ

#### 水彩紙



水彩はもちろん、鉛筆やペンでのスケッチ、写真やチケットなど思い出のアイテムのコラージュに

## MADE IN NAGAREYAMA FACTORY



### HANDBOUND

50年以上に渡り、ノートや便箋などの紙製品を製造してきた流山工場で作られています。リングを使ってノートを綴じていく作業は、一冊ずつ丁寧に人の手でなっています。さらに、断裁、穴あけ、刻印なども、熟練のスタッフの手を経て完成します。



### 試行錯誤の「ペーパーポケット」

すべてのページがポケットになっている「ペーパーポケット」は、1枚の紙を2回折ることで作られています。流山工場にあった折り機とスタッフの創意工夫で今までにない新しいノートが生まれました。



### 一冊ずつ手作業で刻印

工場スタッフの手作業により、表紙にロゴやカンガルー、ミツバチなどの刻印を一冊ずつ押ししていきます。表紙を機械にセットし、ずれないように細心の注意を払いながら、刻印しています。

#### ペーパーポケット



旅先に手に入れたマップやチケットなどの紙モノをざくざく入れて持ち歩くのに便利

#### ファイル



お気に入りのポストカードなどを収納。ノートのように書き込みを楽しんで



## 和紙カレンダー

日本の伝統とモダンを融合し、粋を感じさせる『和紙カレンダー』。1500年という長い歴史と伝統に育まれた越前和紙にシルク印刷を施し、職人が一枚一枚、手ちぎりをして情緒あふれるカレンダーに仕上げています。和紙に描かれているのは、季節の美しい花や、愛嬌のある動物たち。毎月めくのが楽しみになるようなデザインです。国内はもとより海外の方への贈りものとしても人気があり、16年のロングセラー製品となりました。



Sサイズ

Lサイズ



## 使い終わった後の お楽しみ

一ヵ月だけでカレンダーの楽しみを終わらせてしまうのはもったいない。そんな気持ちから、Sサイズには二度楽しめる仕掛けがあります。絵柄部分の一部を絵葉書として使えるようにちぎれる加工を施しています。

## シルク印刷で、 和紙ならではの魅力を

柔らかな肌にしっとりとした質感が魅力の越前和紙にマットな風合いのシルク印刷は、絶妙な味を醸し出してくれます。高い技術を誇る職人の手により重ね刷りされ、美しいカレンダーに仕上げられます。



## 作り手の想い

一年間を通じてお客様に喜んでいただけるモチーフを選び、毎年新しいデザインを描きおこしています。同じテーマであっても、どう表現を変えるか、縦長のカレンダーの中でどのような構図にするか。いつもカレンダーのことで頭がいっぱいです。一番のお気に入り、2017年の酉年「風物柄」。初めて金のシルク印刷を試みたのですが、冠鶴の冠羽が効果的に表現できました。いつか、金と黒の二色のみでデザインしたカッコいいカレンダーを作りたいですね。

## Interior Lifestyle Tokyo 2019に MD PAPER PRODUCTS®とパルプストレージを出展

「ミドリ」が展開する、「MD PAPER PRODUCTS」および「パルプストレージ」を、「Interior Lifestyle Tokyo 2019」[2019年7月17日(水)~19日(金)]に出展しました。

出展場所は、method inc.の山田遊氏率いるディレクションチームが、アトリウムを一つの街角に見立てて、人と商品との思いがけない出会いの感動を創出する場として手がけた、アトリウム特別企画「The Corner Shop -How to make a market-」。当社ブースでは「DESIGN + MATERIAL」をテーマに、素材の魅力、特性を引き出すための最良のカタチを日々追求し、その結果としてたどり着いた5つのペーパープロダクトをご紹介します。

ステーションナリー領域にとどまらず、さまざまな場所でライフスタイルの提案を行うことが今回の目的でしたが、インテリアや雑貨など、多くのジャンルの方に興味関心を持っていただきました。



## OJISAN 25th Anniversary

国内外に人気を誇る「ミドリ」の『オジサン』。1994年に「ポケットダイアリー」でデビュー。5コマ漫画のような世界の中で展開される、独特でにくめないキャラクターとして、多くの方々に愛されてきました。

こうしたファンの皆さまに支えられ、2020年版で「オジサン」はデビュー25周年を迎えます。これまでのご愛顧への感謝と、もっと多くの方に「オジサン」のファンになっていただきたいという想いから、25周年を記念したさまざまな施策を行います。



限定オジサンクリップ付き  
『ポケットダイアリー』&『カレンダー』



オジサン柄の2020年版『ポケットダイアリー』と『カレンダー』に、25周年を記念して作った、ステンレス製のオリジナルクリップ(非売品)が付いています。

### オジサン25周年限定グッズ

25周年を記念した特別なデザインのオジサン限定アイテムをご用意しました。メモやレターセットなどの紙もの、ペンケースやトートバッグ、スノードームなど、オジサン好きにはたまらないラインアップです。発売は10月23日(イ-オジサンの日)。詳細は改めてプレスリリース、ホームページなどでご案内いたします。



このほか、25周年を盛り上げる施策も予定しています。お取引先の皆さま、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 編集後記

先日、欧州のクラフトマンシップ溢れる街を旅してきました。代々、匠の技を継承してきた職人が手掛ける小さなショップを訪れたのですが、中に入った瞬間、とてもよい革の香りとともに、使い込んだ道具や端革、黙々と作業を行う職人さんの姿が目飛び込んできました。そして、並んでいるプロダクトを手にしたとき、何とも言えない温かみや愛おしさを感じました。いつまでも使いたくなる、傍にいてだけで誇らしくなる。これからもそんな製品を皆さまにお届けしていきたいです。(編集長M.N)